

年 組 名前 :

問1

けんりつほうせきびじゅつせんもんがっこう せいと
 県立宝石美術専門学校^の生徒^{たちが}、
 ほうせき ききんぞく つか しぜんぶつ
 宝石^や貴金属^{をあえて}使^{わず}、自然物^や
 ふようひん ゆびわ せいさく もくてき
 不要品^で指輪^を制作^{した}目的^は
 なん
 何^{ですか}。

.....

.....

.....

問2

ゆびわづく つか ざいりょう ぐたいてき
 指輪^{作り}に使^{った}材料^を具体的^に
 か
 書^{いて}ください。

.....

.....

.....

問3

アクセサリ^ーと^いえ^ば指輪^のほかに
 あ
 どん^なもの^があ^ります^か。い^くつ^か挙^げて^くだ^さい。

.....

.....



ショーケースに並ぶ指輪作品
 甲府市丸の内1丁目

指輪 自然物や不要品で

県立宝石美術専門学校の3年生8人が、自然物や不要品を材料に指輪を制作した。宝石や貴金属をあえて使わないことで、学生の発想とジュエリーの可能性を広げる試み。作品は甲府市中心街で展示している。

生徒は装飾デザインや素材の加工法を学ぶ授業の一環で指輪を制作。葉や枝、貝殻、菓子の包み紙、卵の殻など、

宝石専門学校生が制作、中心街に展示



指輪

自宅にある不要品や公園の自然物を素材にした。新型コロナウイルスの感染拡大の影響でオンライン授業を受講した学生が、テレビ会議アプリや無料通話アプリで進捗状況を報告したり、アドバイスを受けたりして自宅で制作した。

制作した指輪のうち約50点を12月3日まで、同市丸の内1丁目の紅梅通り沿いにある山梨中央銀行本店別館のショーケースに展示。ケースに収まらなかった作品は写真パネルで紹介している。

出品した佐久間日菜さんは「個性あふれる形状や素材の面白さを見てもらい、学生がジュエリーだけでなく幅広く学んでいることを知ってもらいたい」と話している。

葉や枝、フルーツネットなどの素材で作った指輪

(2021年10月13日付 山梨日日新聞 21面)